

所属・氏名（ 健康科学部 医療経営学科 氏名：橋村 政哉 ）

著書、学術論文等の名称		単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概要
1 (学術論文) 「健康経営に関する諸研究の考察と今後の課題」		単著	2021年4月	『広島国際大学医療経営学論叢』第14号,広島国際大学健康科学部医療経営学科	本稿は、近年の日本で広まりつつある健康経営に関するいくつかの先行研究を取り上げて考察し、今後の課題を示すことを目的としている。先行研究には経営学および医療の視点からの研究がある。考察を踏まえ、健康経営の取り組みにおけるコラボヘルスの有効性について論考を発展させてゆくことを今後の研究課題として示した。(掲載ページ:pp.1~12)
2 (資料・紹介) 「健康経営の広まりと人的資源管理への効果—保険者(協会けんぽ)の視点からの考察—」		単著	2020年10月	『日本労務学会誌』第21巻第1号,日本労務学会	本稿では、日本で最大規模の医療保険を営む保険者である協会けんぽ(全国健康保険協会)の健康経営がどのような取り組みであり、どのように今後の方向づけを図ろうとしているのかを探り、保険者の視点から健康経営が企業の人的資源管理へどう影響しうるかを広島支部への聞き取りをもとに考察した。(掲載ページ:pp.37~47)
3 (報告・発表) 「健康経営研究の展開と人材活用に向けての課題」		単独	2020年7月	日本労務学会第50回全国大会(神戸大学)	本報告では、近年注目されている健康経営に関する研究を取り上げ、各議論の要点を指摘した。その上で、今後において考察が重要となりうる課題を提示した。
4 (学術論文) 「労働CSRの必要性と実践可能性—従業員に対するCSRの欠如を踏まえて—」		単著	2019年3月	『経営論集』第66巻第2号,明治大学経営学研究所	本稿ではまず、今日のCSRのあり方が矛盾しているがゆえに企業の従業員に対するCSRが欠如していることを従業員の諸管理に焦点をあてて示した。その上で、課題として企業の従業員に対するCSRの欠如を克服するために、従業員の諸管理に関する労働協約を締結すること、経営労務監査を活用することについて検討した。(掲載ページ:pp.367~381)
5 (学術論文) 「CSRの欠如と克服—日本企業の従業員考慮に着目して—」		単著	2018年2月	『経営学論集』第88集,千倉書房	2000年代に入り日本企業はCSR経営を展開しているものの、ステークホルダーの一員である従業員への考慮に着目するとCSRが欠如しているように見える。本稿では、いくつかのデータから株主(投資家)利益が膨らんでいることをみた。その分、従業員の管理が自己責任化しており、従業員利益が萎んでいることを指摘した。その克服の方途として労使協議の課題修正および経営労務監査の可能性についてまとめた。(掲載ページ:pp.[10]-1~[10]-2)